

1月発売作品予告<2025年1月22日発売タイトル>

あの頃夢中で聴いていた名盤が毎月続々登場！
ワーナーミュージックが誇る洋楽名盤シリーズ「フォーエヴァー・ヤング」が装いも新たに再始動！
第五弾リリースは、結成50周年を迎えたニューヨーク・パンクの先駆者ラモーンズに
パンク・ロックのゴッドファーザー、イギー・ポップ率いるストゥージズ、
そしてリアル・パンク・オリジネーター、MC5の名盤が登場！

- ラモーンズ『ラモーンズの激情』(1976年作品)
- ラモーンズ『リーヴ・ホーム』(1977年作品)
- ラモーンズ『ロケット・トゥ・ロシア』(1977年作品)
- ラモーンズ『ロード・トゥ・ルーイン』(1978年作品)
- ラモーンズ『イツ・アライヴ』(1979年作品)
- ラモーンズ『エンド・オブ・ザ・センチュリー』(1980年作品)
- ラモーンズ『プレゼント・ドリームス』(1981年作品)
- ラモーンズ『サブトレイニアン・ジャングル』(1983年作品)
- ラモーンズ『ツアー・タフ・トゥ・ダイ』(1984年作品)
- ラモーンズ『アニマル・ボーイ』(1986年作品)
- ラモーンズ『ハーフウェイ・トゥ・サニティ』(1987年作品)
- ラモーンズ『ブレイン・ドレイン』(1989年作品)
- ラモーンズ『ロコ・ライヴ』(1992年作品)
- ザ・ストゥージズ『イギー・ポップ&ザ・ストゥージズ』(1969年作品)
- ザ・ストゥージズ『ファン・ハウス』(1970年作品)
- MC5『キック・アウト・ザ・ジャムズ』(1969年作品)
- MC5『バック・イン・ザ・USA』(1970年作品)
- MC5『ハイ・タイム』(1971年作品)

FOREVER YOUNG

ワーナーミュージックが誇る洋楽名盤シリーズ
「フォーエヴァー・ヤング」が装いも新たに再始動！
時代を超えて輝き続ける名盤たちのCDが、
2024年6月より長期にわたって続々リリース！

第4弾全20タイトル
2024年11月6日 発売

各¥1,980 (税込)

※2枚組CD作品のみ¥2,970 (税込)

シリーズ
好評発売中！

第1弾 (全18タイトル)

- ・クラフトワーク (8タイトル)
- ・ニュー・オーダー (8タイトル)
- ・ジョイ・ディヴィジョン (2タイトル)

第2弾 (全24タイトル)

- ・イーグルス (7タイトル)
- ・ドゥービー・ブラザーズ (10タイトル)
- ・リンダ・ロンシュタット (7タイトル)

第3弾 (全20タイトル)

- ・シカゴ



情報はこちらから



Warner MusicLifeのSNSもチェック



解説・歌詞・対訳付



トーキング・ヘッズ
『サイコ・キラー'77』
TALKING HEADS/TALKING HEADS '77

ニューヨーク・パンクの舞台CBGB'Sでデビューし、その鋭い個性とパフォーマンスでシーンを牽引したトーキング・ヘッズが新世代の幕開けを宣告した記念すべきデビュー作。大ヒット曲「サイコ・キラー」収録。<1977年作品/2006年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85067



トーキング・ヘッズ
『モア・ソングズ』
TALKING HEADS/MORE SONGS ABOUT BUILDINGS AND FOOD

528枚のポラロイドでポートレートを描いたアートワークと、ブライアン・イノを共同プロデューサーに迎えた斬新な音楽性とその後の成功に結びつき、全米アルバム・チャート29位を記録した2作目。大ヒット曲「ティク・ミー・トゥ・ザ・リヴァー」収録。<1978年作品/2006年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85068



テレヴィジョン
『マーキー・ムーン』
TELEVISION/MARQUEE MOON

ニューヨークのロック・シーンに衝撃的な登場を果たした、トム・ヴァーレイン率いるテレヴィジョンの1stアルバム。クールで知的なパンク・ロックが新たな時代を創造する瞬間を刻んだ名盤。<1977年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

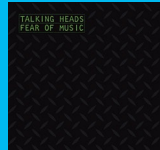
WPCR-85078



テレヴィジョン
『アドベンチャー』
TELEVISION/ADVENTURE

時代をクールに裏切る佇まい、美と狂喜が背中合わせの鮮烈なサウンド。ニューヨーク・アンダーグラウンドに現われ、数々の伝説を纏いながらロック・シーンを震撼させたテレヴィジョンの2ndアルバム。<1978年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85079



トーキング・ヘッズ
『フィア・オブ・ミュージック』
TALKING HEADS/FEAR OF MUSIC

誰も試みることもなかったアフリカン・ビートを導入し、クリエイティビティを追求。前作に続き、共同プロデューサーにブライアン・イノを迎え、さらなるオリジナリティを前面に押し出し、全米アルバム・チャート21位を記録した3作目。<1979年作品/2006年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85069



トーキング・ヘッズ
『リメイン・イン・ライト』
TALKING HEADS/REMAIN IN LIGHT

ブライアン・イノとのコラボレーションにより実現したロックとアフリカン・ビートの融合という華麗にして大胆な企てが結実した、80年代を代表する1枚である4作目。全米アルバム・チャート19位を記録。<1980年作品/2006年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

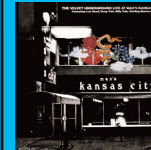
WPCR-85070



ヴェルヴェット・アンダーグラウンド
『ローデッド』
THE VELVET UNDERGROUND/LOADED

現在においてもロック・シーンやアート・シーンに大きな影響を与えつづけるヴェルヴェット・アンダーグラウンドの1970年発表の4作目で、ルー・リードが在籍した最後のアルバム。「スウィート・ジェーン」、「ロックン・ロール」収録。<1970年作品/2015年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85080



ヴェルヴェット・アンダーグラウンド
『ライブ・アット・マックス・カンサス・シティ』
THE VELVET UNDERGROUND/LIVE AT MAX'S KANSAS CITY

1970年8月23日、友人ズ・カンサス・シティにてバンドのメンバーが個人的にカセット・テープレコーダーで録音したルー・リード脱退直前のヴェルヴェット・アンダーグラウンドの貴重なライブ音源。<1972年作品/2015年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85081



トーキング・ヘッズ
『実況録音盤 トーキング・ヘッズ・ライブ』
TALKING HEADS/THE NAME OF THE BAND IS TALKING HEADS

77年のメジャー・デビュー直後のライブと80年の『リメイン・イン・ライト』発表後にニューヨークのセントラル・パークで行われた大規模なステージや東京でのライブなどを収録した2枚組の初ライブ・アルバム。全米アルバム・チャート31位を記録。<1982年作品/2004年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85071/2



トーキング・ヘッズ
『スピーキング・イン・タングズ』
TALKING HEADS/SPEAKING IN TONGUES

歴史的傑作『リメイン・イン・ライト』から2年、ブライアン・イノとのコラボレーションに終止符を打ち、セルフ・プロデューサーでファンクをコンセプトアルバムにアレンジし、全米アルバム・チャート15位を記録した5作目。<1983年作品/2006年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85073



ルー・リード
『NEW YORK』
LOU REED/NEW YORK

ヴェルヴェット・アンダーグラウンドを結成して以来、自身のホームタウンであるニューヨークを表現し続ける孤高のロッカー、ルー・リードのSire移籍第一弾作品。ソロ通算19作目は独自の視点で1989年のニューヨークを描いた名盤。<1989年作品>解説・歌詞・対訳付

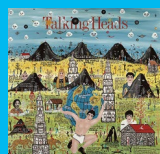
WPCR-85082



ルー・リード
『ソングス・フォー・ドレラ』
LOU REED/SONGS FOR DRELLA

ヴェルヴェット・アンダーグラウンドの中心人物だったルー・リードとジョン・ケイが、アンディ・ウォーホルに贈ったレクイエム・セッション。二人が23年ぶりに一緒にスタジオ入りし、ウォーホルの追悼のために共作した15曲。<1990年作品>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85083



トーキング・ヘッズ
『リトル・クリーチャーズ』
TALKING HEADS/LITTLE CREATURES

バンド・サウンドへの原点回帰、ポップなサウンドで全米アルバム・チャート20位、全英アルバム・チャート10位を記録し、ダブル・プラチナムを記録した6作目。大ヒット曲「アンド・シー・ワズ」、「ロード・トゥ・ノーウェア」収録。<1985年作品/2006年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85074



トーキング・ヘッズ
『トゥルー・ストーリーズ』
TALKING HEADS/TRUE STORIES

テキサスを舞台にスタートし、各地のルーツ・ミュージックを巡る旅を体験できるコンセプトアルバムな7作目。大ヒット曲「ワイルド・ワイルド・ライブ」を収録し、全米アルバム・チャート17位、全英アルバム・チャート7位を記録。<1986年作品/2006年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

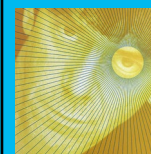
WPCR-85075



ルー・リード
『マジック・アンド・ロス』
LOU REED/MAGIC AND LOSS

ルー・リードが、ソングライターのドク・ポーマスと親友リタの死に哀悼の意を表して作成したソング・サークル・アルバム。尊敬するジミー・スコットがバックアップ・コーラスに参加した「パワー・アンド・グロリー」状況」収録。ソロ通算20作目。<1992年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85084



ルー・リード
『セット・ザ・トワイライト・リーリング』
LOU REED/SET THE TWILIGHT REELING

黄昏のワイルドサイドでルー・リードが描くニューヨーク叙情詩。持前の緊張感を携えつつ、ローリー・アンダーソンとの共演でこれまで見せる事なかった純粋なラブ・ソングも聴かせてくれた人間ルー・リードの姿が浮き彫りになったソロ通算21作目。<1996年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85085



トーキング・ヘッズ
『ネイキッド』
TALKING HEADS/NAKED

ニューヨークとパリでレコーディングされ、ワールドビートを取り入れたスタイルへと回帰した、全米アルバム・チャート19位、全英アルバム・チャート3位を記録した8作目。トーキング・ヘッズ最後のオリジナル・アルバム。<1988年作品/2006年リマスター音源>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85076



トム・トム・クラブ
『おしゃべり魔女』
TOM TOM CLUB/TOM TOM CLUB

トーキング・ヘッズのティナ・ウェイマスとクリス・フランツが結成したプロジェクトの1981年発表のデビュー・アルバム。全米アルバム・チャート23位を記録し、「おしゃべり魔女」と「悪魔のラブ・ソング」は全米ダンス・チャートで第1位を記録。<1981年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85077



ルー・リード
『エクスタシー』
LOU REED/ECSTASY

ニューヨークをこよなく愛し、ロック・シーンを牽引したルー・リードの20世紀最後のアルバム。新たなフェイズに入った前作に続いてゲストにローリー・アンダーソンを迎えたソロ通算22作目。<2000年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85086



ルー・リード
『ザ・レイヴン』
LOU REED/THE RAVEN

2001年11月、NYのブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージックで行われたルー・リードとロバート・ウィルソンによる演劇作品"POEtry"が元になったアルバム。デヴィッド・ボウイ、ローリー・アンダーソン、オーネット・コールマンらがゲスト参加したソロ通算23作目。<2003年作品>英文ライナー・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85087